【医療情報】新型コロナウイルス関連情報（4月22日現在）

【ポイント】

- 報道によれば、アルゼンチン国内では3288名（昨日から144名増）の累計感染者数、うち159名の累計死亡者数、872名の累計治癒数が報告されています。
- 当国に居住、または短期的に滞在している方を対象とした、全国強制隔離措置（以下「強制隔離と記載」）（DNU355／2020）が4月26日まで継続中。同時に、非居住者の方々の入国の禁止も同日まで継続中です。また、現在4月26日までとなっている強制隔離の期限が、5月10日（3日との報道もあり）まで延長される可能性も報じられています。
- 地方におられる非居住者の方々が、強制隔離期間中にご帰国のために、首都へ移動される際には、所在地を出発される最低48時間前までに申請を行う必要がありますので、時間的余裕を持ち、事前に当館領事班までお知らせください。
- 短期渡航者やご帰国予定がある皆様におかれましては、強制隔離およびそれに伴う国内移動制限の長期化、国際便の減少を念頭に、出国を希望する場合には各交通機関の運行状況等について、最新の情報の収集に努めてください。

【本文】

1 報道によれば、アルゼンチン国内では3288名（昨日から144名増）の累計感染者数、うち159名の累計死亡者数、872名の累計治癒数が報告されています。

2 感染ピークの予想（報道）

（1）アルゼンチン保健省

ゴンサレス・ガルシア保健大臣は、ラジオ番組において、感染のピークについては、5月の強制隔離の結果次第だとしながらも、全国的な感染ピークは6月になり、以降はなだらかなものになるであろうと述べています。

（2）ブエノスアイレス市

キロス・ブエノスアイレス市保健大臣は、同市議会保健委員会において、現状では、ブエノスアイレス市での新型コロナウイルスの基本再生産数は1.3であり、感染のピークは5月下旬になるとの見通しを発表しています。更に、感染のピーク時には1日あたり2,000～3,000人の軽症患者が発生し、仮に2,000人の軽症患者が発生した場合には、入院が必要となる人は600人、集中治療室にて治療が必要となる人は、200人となる見込みであるとしています。

3 強制隔離の今後の行方（報道）

（1）報道によれば、現時点では強制隔離は4月26日（日）までの予定となっていますが、今後延長されることが内々では決定されており、既に各州知事の支持も得られているとのこと

です。一方で、27日（月）以降は、強制隔離の例外対象が拡大される見込みであり、各州・市の要請に従っていずれの活動・サービスが例外対象となるかは、今後数日で決定がなされるとも報じられています。

北部の諸州では、感染者数がゼロか、極めて低いために、経済活動の再開が近いものとも見られているようです。

(2) 22日、クルファス生産開発大臣が、CNNのラジオ番組に出演し、10月までにはほとんどの活動が再開するであろうと述べると共に、文化的な活動や観光業は最後の再開となり、その時期は、おそらく10～11月となるであろうとの見通しを示しています。

4 地方に滞在されている皆様が首都へ移動される際の注意事項

地方におられる非居住者の方々が、強制隔離期間中にご帰国のために、車両（バスやレミース）で首都へ移動される際には、所在地を出発される最低48時間前までに申請を行う必要がありますので、ご帰国のために移動のご予定のある方は、時間的余裕を持ち、事前に当館領事班 conbsas@bn.mofa.go.jp までお知らせください。細部は「地方に滞在されている皆様が首都へ移動される際の注意事項」をご参照ください。

<https://www.ar.emb-japan.go.jp/files/100043069.pdf>

5 強制隔離およびそれに伴う国内移動制限

の長期化が見込まれ、見通しも不透明であるとともに、国際航空会社の多くが減便をしている現状から、短期渡航者やご帰国予定がある皆様におかれましては、マスクの着用、手洗いやうがいの励行などの感染予防に努めるとともに、出国を希望する場合には、各交通機関の運行状況等について、最新の情報の収集に努めてください。 (以上)